

12月 1日～15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
08/12/01 (月)	東京は日経平均が弱含みに推移したことで円買い先行。一方、ムブール安容認報道からユーロ円は堅い。欧米は全米経済研究所が公式なりセッション入りを表明したことが材料視されドル売り優勢。安値引けに。	・一部報道「日銀は週内にも臨時政策決定会合、年末の資金需要に向けて貸し渋り対策などを検討」 ・露中銀がムブール安容認コメント ・11月の米ISM製造業指数36.2、10月の米建設支出 1.2%	・中国人民銀行「人民元の基本的な安定を維持する」 ・全米経済研究所「米国経済は07年12月からセッション入り」 ・FRB議長「金融政策には限界がある」	95.35 95.42 93.04 93.24	120.80 121.02 117.35 117.56	寄付 安値 高値 終値
08/12/02 (火)	東京は豪ドル主導の相場展開。発表された豪経済指標は良好ながら利下げを受けて上げ渋りの局面も。欧米は米政府による自動車業界支援期待からドル買い優勢。しかし米株伸び悩みで終盤に失速。	・RBAが1.0%の金利を引き下げ ・日銀が全員一致で金利据え置き ・GMが120億ドルの融資要請、フォードが最大で90億ドルの融資要請、クライスラーが70億ドルの融資要請とピックスリが再建計画発表	・与謝野経財相「円が高くなることは悪いことではない」 ・米財務長官「自動車産業は米経済にとって重要」 ・Aロシ下院議長「自動車産業の破綻は選択肢にない」	93.21 93.83 92.63 93.18	117.43 119.47 116.57 118.43	寄付 安値 高値 終値
08/12/03 (水)	東京は翌日のECB利下げ観測背景にユーロ円中心に円が上がり、ドル円も92円台へ。欧米は発表された米経済指標の悪化でドル売り先行するも、終盤はショートカバーで急反発。	・11月の米ADP全米雇用報告 25万人、同ISM非製造業指数37.3、第3四半期非農業部門労働生産性1.3%、同労働コスト2.8% ・米地区連鎖報告「10月半ば以降、経済はすべての地域で弱まった」	・WSJ「米財務長官はTARP第2弾抛出を議会に要請検討中」 ・米自動車労働者組合「協定の見直し、修正も検討」 ・CNBC等「住宅ローン金利を低下させる策を検討している」	93.14 93.65 92.53 93.30	118.35 119.25 116.82 118.66	寄付 安値 高値 終値
08/12/04 (木)	東京は一部米紙によるFM破産検討報道を受けてドルが急落。ECB利下げ観測もあり円は独歩高。欧米は英欧の利下げは予想通りで影響限定的。一方、米雇用市場への不安感根強くドルは円を抜けない。	・NZが政策金利を0.5%引き下げ ・スウェーデンが政策金利を1.75%下げ ・英国が政策金利を1.0%引き下げ ・ECBが政策金利を0.75%下げ ・デマークが政策金利を0.75%下げ ・10月の米製造業受注 5.1%	・一部米紙「GMが破産法申請を検討か」 ・露首相「急激なムブールの切り下げはない」 ・ECB総裁「第4四半期の経済はさらに弱まった」	93.15 93.42 92.05 92.22	118.34 119.29 116.35 117.84	寄付 安値 高値 終値
08/12/05 (金)	東京はNYタイムに発表される米雇用統計待ちで商い閑散。セッション調整と思いき価格変動に終始した。欧米は荒っぽい値動き。米雇用統計の悪化でドルは大幅下落するも、その後は1円を超える急反発も。	・11月の米失業率6.7%、同非農業者部門雇用数 53.3万人 ・WSJ「FRBは国内自動車メーカーに対する直接融資を拒否する見通し」 ・デイリーテレグラフ「BOEは国債などの直接買い入れを検討」	・英首相「金利はさらに引き下げられる可能性がある」 ・下院金融委員長「速やかな自動車救済が必要」 ・FRB「GSE債券対象買い切りオペを実施」	92.46 93.40 91.58 92.89	118.15 118.74 115.87 118.16	寄付 安値 高値 終値
08/12/08 (月)	東京は中国政府にわる課税報道から円売り優勢。ユーロ円は実に2円を超える大幅上昇をたどった。欧米は米自動車業界救済に対する期待などを背景にドル高進行。ただその後は利食い売りに押された。	・10月の経常収支9605億円 ・中国政府が商業銀行の融資金利に課税される事業税を引き下げ ・米メディア大手のドリュンが連邦破産法を申請	・NZ首相「利下げによりNZドルはさらに下落する可能性」 ・米下院金融委員長「自動車救済策は最大で150億ドル」 ・米民主党自動車業界救済法案「ビッグ3への融資期間は7年」	92.79 93.89 92.57 92.81	118.14 120.95 118.10 120.30	寄付 安値 高値 終値
08/12/09 (火)	東京は日中株価をにらんだ展開となったがともに株価は伸び悩み、リスク回避の円買いが先行した。欧米は米債券利回りの低下を嫌気したドル売り優勢。NYダウの大幅安もドル売り要因に。	・第3四半期GDP改定値 0.5% ・10月の景気先行指数85.0 ・10月の独貿易収支158億ユーロ ・12月の独ZEW景況感指数 45.2 ・カナダが政策金利を0.75%引き下げ ・10月の米住宅販売 0.7%	・RBA総裁「必要ならさらなる金融緩和がとられる可能性」 ・セントスBOE委員「BOEはすでに大幅な金融緩和を行っている」 ・米下院議長「自動車業界救済法案で進展が見られた」	93.01 93.06 91.93 92.11	120.10 120.22 118.40 119.06	寄付 安値 高値 終値
08/12/10 (水)	東京はワイトハウスによる発表を受けて円が急反落。対ドルを中心にユーロなどで弱含みとなった。欧米は東京タイムから一変し自動車業界の救済への懸念が台頭しドル売りの流れへ。	・10月の機械受注 4.4% ・11月の企業物価指数 1.9% ・ワイトハウスから民主党議会と自動車救済について大筋合意との報道 ・10月の米卸売在庫 1.1% ・米財務省が為替報告書発表	・NZ中銀総裁「追加利下げにはインフレ圧力の低下が必要」 ・ホーカス米上院議員「自動車業界救済法案には反対」 ・シェルドン米上院議員「このような立法を支持できず」	92.33 93.03 92.30 92.77	119.36 121.44 119.33 120.81	寄付 安値 高値 終値
08/12/11 (木)	東京は米下院でビッグスリ-救済融資が決定したものの予想内との見方多く影響限定的。欧米は米貿易赤字が予想以上に拡大したことが嫌気されドル売り優勢。とくにユーロでドルは一段安。	・ブラジル中銀が金利据え置き決定 ・韓国が政策金利を1.0%引き下げ ・スイスが政策金利を0.5%引き下げ ・11月の米輸入物価指数 6.7% ・10月の米貿易収支 572億ドル、対日 60.5億、対中 279.6億	・一部報道「ビッグスリ-へのつなぎ融資を下院で可決」 ・独連銀総裁「ECBは実質金利がマイナスになる水準を超えて利下げすべきではない」	92.85 92.85 91.16 91.43	120.83 122.73 120.30 122.07	寄付 安値 高値 終値
08/12/12 (金)	東京は予想外とも言える米上院での救済法案廃案から一時バニョック的なドル売りも、90円割れへ。欧米は自動車メーカー破綻回避に向けた米政府などの取り組みが次々に示されたことでドルは急反発へ。	・米上院で自動車救済法案が協議決裂、廃案へ ・10月の鉱工業生産確報値 3.1% ・11月米小売売上高 1.8%、同PPIは 2.2%、10月企業在庫 0.6%、11月シカゴ大消費者信頼感指数59.1	・ルクセンブルグ首相「ECBは利下げ余地を温存するべき」 ・米大統領報道官「自動車業界破綻回避のためTARP資金の使用検討」 ・Aロシ下院議長が5000億ドル超の景気刺激策導入を示唆	91.50 91.88 88.10 91.10	121.95 122.55 117.74 121.82	寄付 安値 高値 終値
08/12/15 (月)	オセアタイムに一時92円手前を付けるもその後ドルは円を抜く。自動車救済をめぐる動きがドルの足かせ。欧米は翌日にFOMCの結果発表を控え売買手控えムード。一時ドル売り進むも結局行って来い。	・12月の日銀短観 24 ・10月の対米証券投資15億ドル、12月のNY連銀指数 25.8、同HANB指数9、11月の米鉱工業生産0.6%、同設備稼働率75.4%	・日銀総裁「日本経済は09年度にマク入成長に落ち込む」 ・Aロシ下院議長「米政府は自動車救済にTARP資金を使用する」	90.72 91.36 90.25 90.63	121.95 124.58 121.67 124.06	寄付 安値 高値 終値

\* ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで